



コア通信
Vol.56

2020年
9月発行

日増しに秋の深まる気配を感じます。
秋の便りとコア通信「最新号」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

季節にあうおすすめの1曲

9月 今宵の月のように/エレファントカシマシ

1997年にリリースされた15枚目のシングル曲で、ドラマの主題歌として起用された。一人の男が過去と決別し、再び歩みだそうとする前向きな歌詞と力強いメロディーに背中を押された男性も多く、エレカシのカラオケランキング1位となっている。

10月 たき火

昭和16年、ラジオ番組の依頼を受け、作詞の巽聖歌（たつみせいが）が当時住んでいた東京都中野区上高田の風景をもとに作られた。煙や環境問題でたき火そのものが自由に出来なくなってしまったが、かつての私達の暮らしに「たき火」が身近な存在だったことを知らせる童謡としても、大切な歌となっている。

QRコードから演奏が
聴けます！



心に響く一曲

「愛のメモリー/松崎しげる」

1977年にシングル曲として発売されたこの曲は、スペインで開催の「マジョルカ音楽祭」へ参加する為に制作された。スペインで披露するなら、情熱的なラブソングが良いのではないかと、フランク・シナトラの「マイ・ウェイ」を意識した壮大なバラードを作詞たかたかし、作曲馬飼野康二に依頼した。

音楽祭では、サビをスペイン語にするなどの手直しが施され、原曲は「愛の微笑」と名付けられた。のちにお菓子のCMソングに起用された際に、歌詞を一部改変し「愛のメモリー」としてリリースすると瞬間にヒットを記録、今年デビュー50周年を迎えた松崎しげるの代表曲となった。声量と迫力のある高音は、カラオケで歌唱したくなる一曲。



♪美しい人生を 限りない喜びを
この胸のときめきをあなたに

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第 2007310-001)

トピックス
2020
サマーコンサート



入口には演奏曲目に
ちなんだ品物を展示

8/23東京ウィメンズプラザホールにてサマーコンサートを開催致しました。今年2月には日程と会場が決定していたものの、世間の情勢から本当に開催して良いものか、お客様にはご来場頂けるのか等様々な意見が交錯しましたが、無事当日を迎えることが出来ました。

リハーサルはリモートで行い、初めはどうなる事かと思いましたが、各自それぞれ自宅から繋ぎ、曲紹介から演奏までの流れは本番さながら。当日も滞りなく演奏が進みました。アンサンブルあり、ボーカルあり、コスプレあり、ダンスあり・・・。



この日の
ために
オリジナル
Tシャツ作成

このような中でご来場頂いたお客様の為に、出演者から心を込めたおもてなしをさせて頂きました。自粛生活が続く中で、ご来場されたお客様にとって一服の清涼剤のようなコンサートになったのなら大変嬉しく思います。



コナン現る！



踊りたい！の声が多く、
演奏と踊りの取り合いに(笑)

ご来場いただき
有難うございました



♪ 編集後記 ♪

「三密」、「新しい生活様式」、「ソーシャルディスタンス」等、コロナ禍に関する言葉が定着してしまいました。今年の初めに、暑い真夏にマスクをしなくてはならないなんて誰が予想できたでしょう。逆にすっかりリモート会議やテレワークには慣れました。唯一良かった点かな(´_`A まだまだ落ち着く様子のない新型コロナウイルスですが、色々な知恵もって乗り切りたいものです。

♪コア美

急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。
音楽・映像のことなら、迅速対応の

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21
クレストコート保谷403

TEL : 042-421-7150

FAX : 042-422-0894

HPアドレス : <http://www.so-koa.jp>

